

## 市議会請願・陳情審査状況について



## 令和元年度 市議会に提出された請願・陳情の審査状況

請願 第 1 号	<b>義務教育に係る国による財源確保と、30人以下学級の実現をはかり、教育の機会均等と水準の維持向上、並びにゆきとどいた教育の保証に関する請願</b>	令和元年6月11日 提出 令和元年6月20日 付託 令和元年6月21日 審査
審査の結果 : 継続審査		

陳情 第 8 号	<b>川崎市立南生田中学校の体育館への空調設備・シャワー設備の設置及び、格技室の新設または金工室の格技室への変更(空調設備含む)と外付けトイレ設備・シャワー設備の設置のお願いに関する陳情</b>	令和元年5月16日 提出 令和元年5月20日 付託 令和元年8月2日 現地視察 令和元年8月23日 審査
審査の結果 : 趣旨採択		

請願 第 5 号	<b>川崎市の図書館の振興にかかわる請願</b>	令和元年10月7日 提出 令和元年10月11日 付託 令和2年2月14日 審査
審査の結果 : 不採択		

陳情 第 25 号	<b>川崎市立橘高等学校屋外グラウンドの人工芝生化に関する陳情</b>	令和元年11月1日 提出 令和元年12月5日 付託 令和2年1月16日 現地視察 令和2年1月30日 審査
審査の結果 : 趣旨採択		

陳情 第 39 号	<b>定時制教育を充実させるための陳情</b>	令和元年12月16日 提出 令和元年12月18日 付託 令和2年1月30日 審査 令和2年2月13日 審査
審査の結果 : 不採択		

請願 第 13 号	<b>少人数学級の推進と小学校に英語専科教員の加配を求める請願</b>	令和元年3月17日 提出 令和元年3月19日 付託
審査の結果 :		

請願第 5号

令和元年10月 7日

川崎市議会議長 山崎直史様

川崎区  
川崎の文化と図書館を  
発展させる会  
ほか 365名

### 川崎市の図書館の振興にかかわる請願

#### 請願の要旨

本市は、これまで図書館の振興に努め、現在も目指すべき「7つの運営理念」を掲げています。

しかし、宮前区の「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」への取組と同時に、社会状況に合わせ「(仮称)今後の図書館のあり方」を策定しようとしています。それに関し、以下のことを請願します。

#### 請願の項目

- 1 現在の宮前区の図書館・市民館をいかし、区内2つ目の図書館・市民館を建設すること。
- 2 現在進められている「(仮称)今後の図書館のあり方」は、庁内検討会だけでなく、市民・専門家の委員等による「将来の図書館のあり方構想委員会」(例)を設置し、行政と市民で検討し、基本計画を策定すること。
- 3 無料の原則、記録等の資料の収集・提供・保存、図書館奉仕の向上、学校教育、博物館等との連携支援を定めた図書館法の趣旨を尊重し、図書館の管理形態は直営を原則とすること。

## 請 願 の 理 由

- 1 人口23万人の宮前区は、2035年まで人口増が見込まれますが、現在、図書館が1館しかありません。図書館は、子どもからお年寄りまで、日々、生活の中で身近に使う施設です。子どもたちや高齢者が負担なく行けるよう、他区と同様、2館目を設置する必要があります。他政令市と比較して設置率が低い状態です。
- 2 「(仮称) 今後の図書館のあり方」は、将来にわたって本市の図書館政策の基本となるものです。図書館は、市民とともに育ててこそ発展します。市内だけで検討するのではなく、市民自治の観点からも広く全市民に知らせ、市民と行政が対等な立場で検討するべきです。例えば、専門家や市民、図書館を利用する様々な人が参加する構想委員会を立ち上げ、十分時間を掛けて成案を得てください。
- 3 2003年(平成15年)の地方自治法改正により、指定管理者の導入等、民間活力が図書館でも導入され、現在、図書館での導入率は15%くらいです。しかし、導入館の調査によると、当初の目的である「サービス向上と経費の節減」は達成できていないところが多く、結果、図書館の機能低下や臨時職の司書の劣悪な労働条件により、次世代に図書館の専門的なノウハウを手渡せなくなると危ぐされています。本市も例外ではありません。

2019年(令和元年)6月刊行の「公共図書館－『新しい公共』の実現をめざす－」(超党派の活字文化議員連盟・公共図書館プロジェクト答申参照)では、図書館運営は直営が望ましいと明言されています。

紹介議員

大 庭 裕 子

令和元年11月 1日

川崎市議会議長 山崎直史様

中原区  
中丸子橋町会  
会長

ほか 2団体

川崎市立橋高等学校屋外グラウンドの人工芝化に関する陳情

陳情の要旨

- 1 市立橋高等学校の屋外グラウンドの人工芝化
- 2 市立橋高等学校周辺の土ぼこり防止等に役立っている植木（ツツジ等）の一部枯れている部分の再整備

陳情の理由

- 1 橋高等学校周辺は比較的風の強い地域であり、グラウンドに近い中丸子各町会周辺では、グラウンドから風の吹く先でグラウンドの土ぼこりや砂が周辺住民の家の中まで入ってくる状態にある。
- 2 グラウンドの土ぼこりを抑制するため、橋高等学校グラウンドにはスプリンクラーが設置されており、風の強い時に水がまかれているが、スプリンクラーの設置場所に近い周辺の家では風に乗って水が吹き込んでくる状態にある。
- 3 当初、町会の要望などにより植えられた、土ぼこり防止や景観の向上に役立っている橋高等学校周辺の植木も、土地に合わない品種を植えた場所だけ枯れて、機能が失われている場所がある。
- 4 周辺への影響を鑑み、土ぼこりを大きく抑制できるグラウンドの人工芝化と、グラウンド周辺の植木の枯れてしまった部分について、枯れていない部

分と同様の環境に合った品種の植え替えを陳情する。

令和元年12月16日

川崎市議会議長 山崎直史様

宮前区  
定時制高校を守る市民の会  
かわさき  
代表

定時制教育を充実させるための陳情

陳情の要旨

- 1 市立川崎高等学校定時制の夜間部2クラスの募集を停止せず、今後も2クラス募集を継続してください。
- 2 市立高津高等学校定時制の募集クラスを減らさず、これからも3クラス募集を続けてください。
- 3 勤務する先生方の負担軽減のため、市立川崎高等学校定時制の教職員定数を増やしてください。

陳情の理由

本市教育委員会は本年11月20日の市議会文教委員会に「市立高等学校改革推進計画第2次計画（案）」の報告をしました。この中で定時制については、①川崎高等学校定時制の夜間部2クラスの募集を停止し、同校昼間部のクラスを今の2クラスから4クラスに増やす、②高津高等学校定時制（夜間）の3クラス募集を2クラスにする、としています。

昼、働いている人だけではなく、不登校を経験した人や高校を中退した人、障がいのある人、外国につながる人、今まで学ぶ機会に恵まれなかった人などの多様な人たちにとっての大切な学びの場になっている夜間定時制高校ですが、近くの夜間の定時制が無くなったり、募集するクラス数が減ったりす

ると、希望する人にとっては入学することや通学することが困難になります。  
また、1クラスの人数が多くなりすぎると、小規模だからこそ可能な現在の夜間定時制の良さが失われてしまいます。今までの本市市立の定時制夜間課程を持つ学校数と募集クラス数を維持してください。

また、昼間部と夜間部の両方を受け持つことで過酷な勤務となっている教職員の負担軽減のために、教職員定数を増やしてください。

請願第 13号

令和2年 3月17日

川崎市議会議長 山崎直史様

幸区

ゆきとどいた教育を

すすめる川崎市民の会

ほか 8,864名

### 少人数学級の推進と小学校に英語専科教員の加配を求める請願

#### 請願の趣旨

本市では、小学生の約30%、中学生の約70%が36人以上の詰め込み学級で学んでいます。国の責任で、全ての子どもが35人以下の少人数学級で学べるようにすることを求めます。また、市独自でも35人以下学級の拡大を求めます。

2020年度（令和2年度）から新しい学習指導要領が全面実施となります。5～6年生では、教科としての外国語教育（英語）が、週2コマ（年間70時間が標準授業時数）始まります。中学校同様、小学校にも英語の免許を持った先生を加配して、教科としての外国語授業が進められるようにしてください。

#### 請願事項

- 1 国の責任で35人以下学級を中学校3年生まで早期に実施するよう、国に対して意見書を提出すること。
- 2 当面、市独自で、小学校3年生と中学校1年生を35人以下学級にすること。
- 3 小学校英語の実施に当たっては、専科教員を加配すること。

紹介議員

宗田裕之